車いす

取扱説明書補足事項

この度は、弊社製品をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。
同封の取扱説明書と併せて本書を必ずお読みになり、十分ご理解いただいた上でお使いください。
また、本書はいつでもご覧になれる所に大切に保管しておいてください。

安全上のご注意

ⓘ警告

・手押しハンドル、本体フレームおよびバックサポートのポケットに重いものを吊り下げたり、入れたりしないでください。過度の荷物はバランスを崩し、転倒する恐れがあります。
・車いすの分解、フレーム構造を変更するような改造は行なわないでください。製品の強度や耐久性が損なわれ、転倒など事故やけがにつながる恐れがあります。
・スイングアウト機能付の場合…スイングアウトフットレスト（フット・レッグサポート）の開閉時、フック部に身体や衣服を引っ掛けないように注意してください。けがをする恐れがあります。
・スイングアウト機能付の場合…乗り降りの際、スイングアウト部に身体や衣服を引っ掛けないように注意してください。転倒など事故やけがにつながる恐れがあります。

使いかた

ブレーキのかけかた

⚠警告	・乗り降りの際および停止時には、必ず両輪の駐車用ブレーキをかけてください。ブレーキがかかっていないと車いすが動きだし、衝突や使用者の転倒事故につながる恐れがあります。ブレーキレバーは、ブレーキレバーが止まる位置まで確実に操作してください。 ・乗り降りの際にはブレーキレバーに体重をかけないでください。レバーが破損・変形し、転倒する恐れがあります。 ・車いすを駐車するときは、水平で平坦な場所に駐車してください。坂道等の傾斜のある場所では、駐車用ブレーキを使用しても車いすが動く場合があり、転倒など事故につながる恐れがあります。 ・タイヤの摩耗に注意してください。タイヤが摩耗すると、駐車用ブレーキが効かなくなる場合があります。ブレーキの効き具合が悪いときは、販売店に調整の依頼をしてください。 ・走行中に駐車用ブレーキを使用しないでください。転倒などの事故につながる恐れがあります。

● 駐車用ブレーキのかけかた

使用者が、左右の駐車用ブレーキレバーを手前に引いてかけます。
ブレーキレバーを前方に戻すと解除されます。

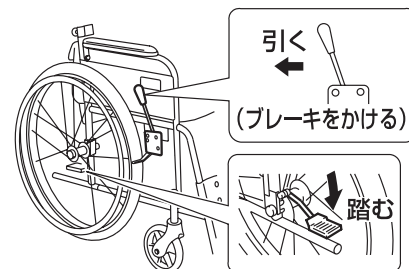
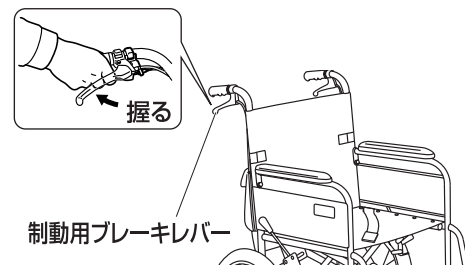
● 足踏みブレーキの使いかた

介助者が、左右の足踏みブレーキを踏み込みます。（駐車用ブレーキがかかります。）
足踏みブレーキを足で持ち上げて元の位置に戻すと解除されます。

● 制動用ブレーキのかけかた

⚠危険	・スピードを出さないでください。スピードが出ているときに急カーブを走行したり、急ブレーキをかけたりすると、転倒して事故やけがにつながる恐れがあります。 ・急な下り坂で介助するときは、後ろ向きにゆっくり降りてください。また、制動用ブレーキを使いスピードを落としてください。

⚠警告	ブレーキは、介助者がブレーキレバーを左右同時に握ってかけてください。転倒して事故やけがにつながる恐れがあります。

⚠注意	ブレーキワイヤーは、安全のため定期的に交換してください。（交換の目安:1年に1度）

介助者が、左右の手押しハンドル下の制動用ブレーキレバーを握ってかけます。
ブレーキレバーを放すと解除されます。

困った時には

車いすをご使用されていて『故障かな』と思われましたら、販売店へ連絡するまえに下記項目を確認してください。

症状	確認点	対処
車いすがまっすぐ走らない。 斜行する。	路面が傾斜していませんか。 車いすは、傾斜面では低い方へ前輪が流れる特性があります。	低い方へ曲がらないように車いすを操作してください。 〈自走の場合〉 傾斜面の低い側に当たる駆動輪をより強く回してください。 〈介助者が押す場合〉 傾斜面の低い側に当たる押し手グリップに、より力を入れて押してください。
	主輪（駆動輪）の空気圧の不足、また左右の空気圧に差がありませんか。	左右の主輪（駆動輪）を適正な空気圧に調整してください。
	前輪の回転に左右差がありませんか。 キャスタ軸の回転がスムーズですか。	お買い上げの販売店へ修理をご依頼ください。
	前輪、駆動輪（主輪）の計4輪がきちんと接地していますか。	
駐車用ブレーキが効かない。	駆動輪（主輪）の空気圧は適正ですか。	駆動輪（主輪）を適正な空気圧に調整してください。 適正空気圧はタイヤ側面に記載されています。
	駆動輪（主輪）のタイヤは摩耗していませんか。	お買い上げの販売店へ修理をご依頼ください。
	駐車用ブレーキのタイヤ押えが駆動輪（主輪）にきちんと当たっていますか。駐車用ブレーキがガタついていませんか。	
制動用ブレーキ（介助ブレーキ）が効かない。	ワイヤーチューブが、折れ曲がったり、引っ掛かったりしていませんか。	インナーワイヤーがスムーズに動くように、ワイヤーチューブの取廻しを修正してください。改善がみられない場合は、お買い上げの販売店へ修理をご依頼ください。
	ワイヤーが伸びたり、切れたりしていませんか。	お買い上げの販売店へ修理をご依頼ください。
駆動輪（主輪）に空気がはいらない、すぐにぬける。	適正な空気圧で補充してますか。	駆動輪（主輪）を適正な空気圧に調整してください。 適正空気圧はタイヤ側面に記載されています。
	トップナット（コア押さえ、バルブナット、バルブスリーブ）が緩んでいませんか。	締め付けてください。
	タイヤチューブのパンク、バルブの消耗はしていませんか。	お買い上げの販売店へ修理をご依頼ください。
異音がする。	本体や車輪とオプション品、アクセサリーなどとの干渉はしていませんか。	車いすに取り付けて使用するカバンなどは車輪など回転する箇所と干渉しないようにしてご使用ください。
	可動部分の錆び・摩耗・汚れ・油きれなどによっておこる摩擦音がしていませんか。	お買い上げの販売店へ修理をご依頼ください。
	ボルト類の緩み等がおきていませんか。	
	フレームに歪みが発生していませんか。	
車いすが開かない	バックサポートの張り具合を締めすぎていませんか。	バックサポートの張り具合を調整いてください。
リクライニング（ティルト）の動きが悪い。	ワイヤーチューブが、折れ曲がったり、引っ掛かったりしていませんか。	インナーワイヤーがスムーズに動くように、ワイヤーチューブの取廻しを修正してください。改善がみられない場合は、お買い上げの販売店へ修理をご依頼ください。
	ワイヤーが伸びたり、切れたりしていませんか。	お買い上げの販売店へ修理をご依頼ください。

アフターサービス

・万一故障の場合は、お買い上げの販売店、または弊社へこの商品の品名および故障状況をくわしくご連絡の上お申しつけください。
・保証期間内の場合は、保証書の提示が必要となります。

保 証

・保証内容につきましては、同封の保証書をご覧ください。
・保証期間終了後の修理については、お買い上げの販売店、または弊社へお申しつけください。
　修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有償修理いたします。

製造元

〒457-0863 名古屋市南区豊三丁目38番10号
TEL 052-694-0333　FAX 052-694-0800